

明治期に建設された日本最大のレンガ造灯台【現存せず】

ペーパークラフト

初代 塩屋埼灯台 Shioya saki S , 1/100

磐城国石城郡豊間村

灯台の大きさ

高さ：35.3m(レンガ造石造) 光り 水面から78.8m

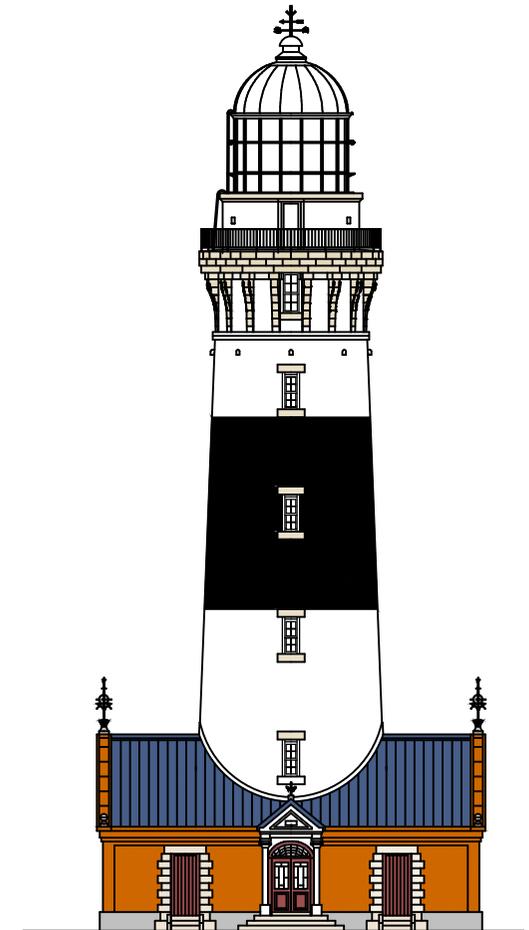
灯塔の太さ：円筒形 下部直径 7.88m 白地に黒横帯1本

光りのとどく距離：23.0海里(約42km)

光りかた：150万カンデラ(大正9年11月に電化時) 20秒に1回白く光る(第一等レンズ)

設置年月：明治32年12月15日(1899)

昭和13年11月5日福島県東方沖地震により大破、その後爆薬により取り壊し



南側立面図 S:1/300

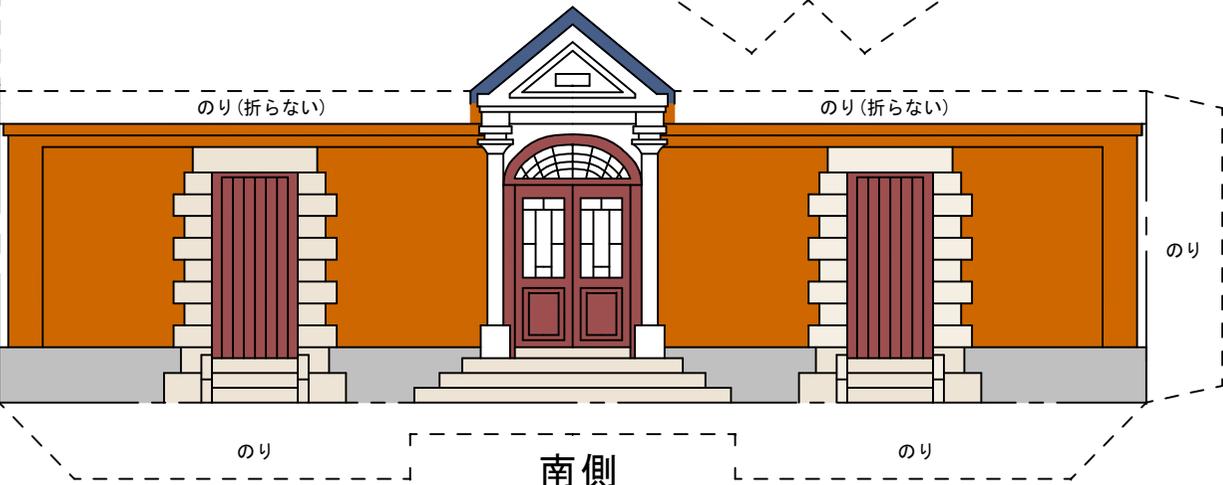
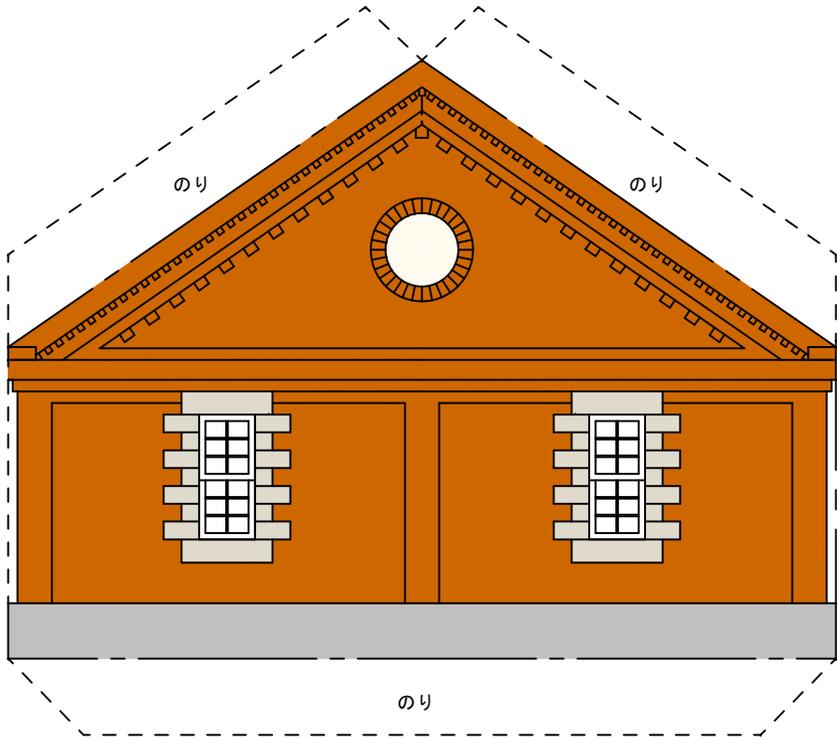
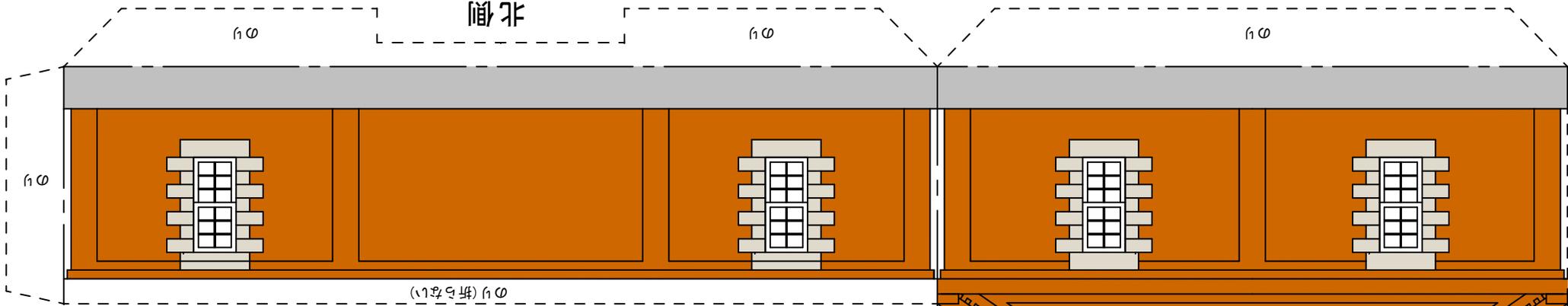


福島海上保安部

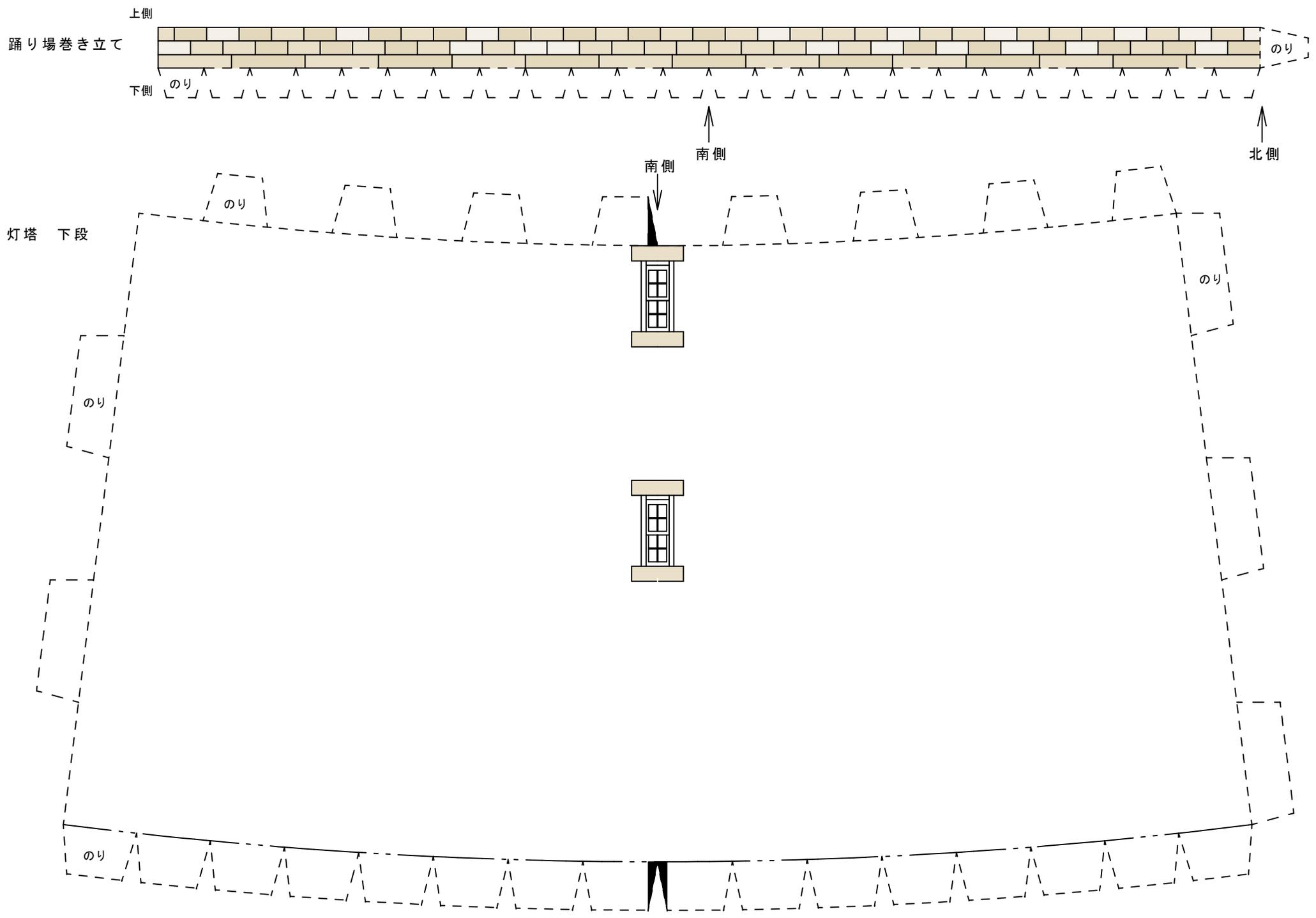
付属舎

- - - のりしろ線
- 山折り線
- 谷折り線

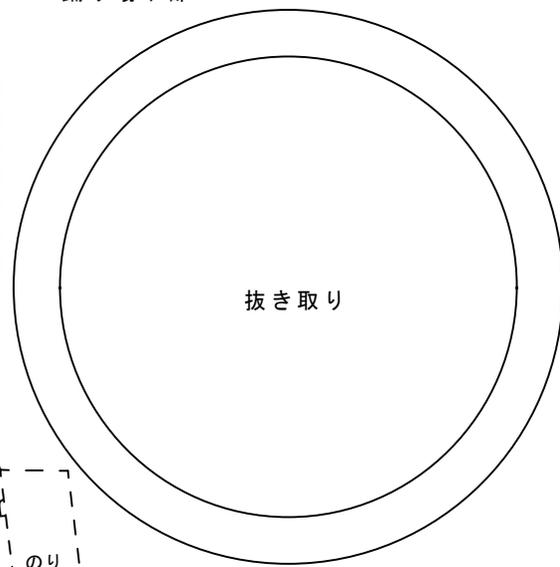
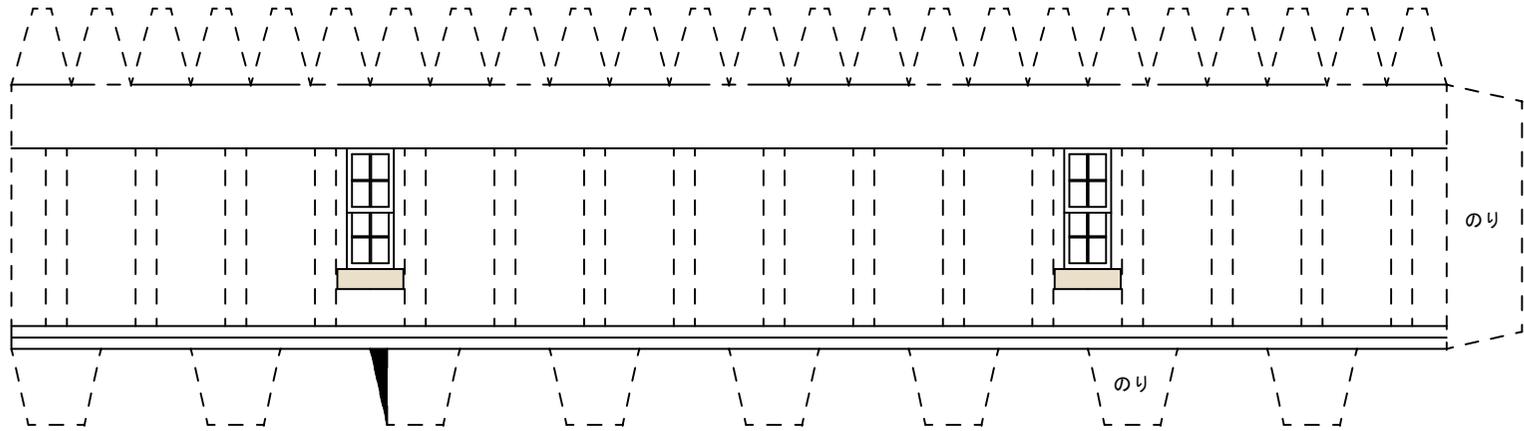
側面



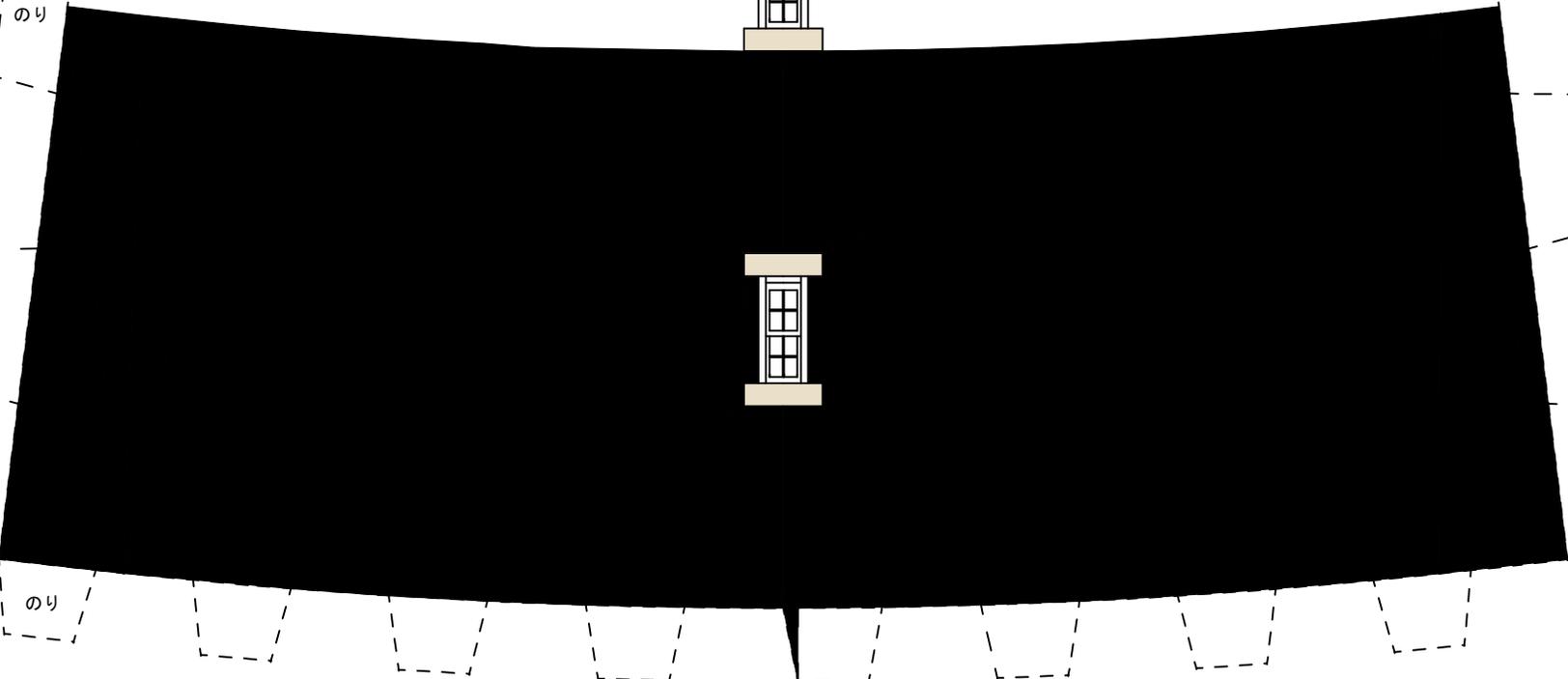
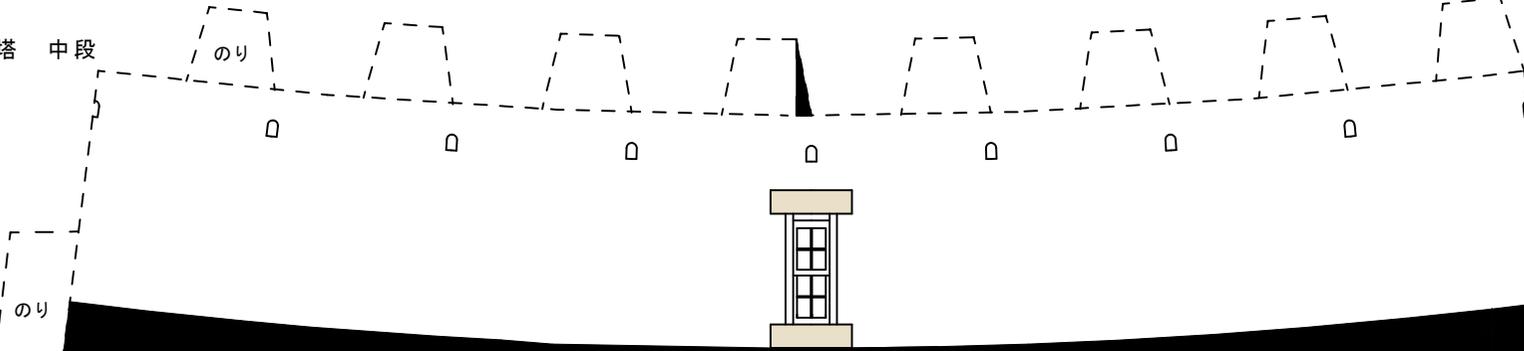
南側



踊り場下部

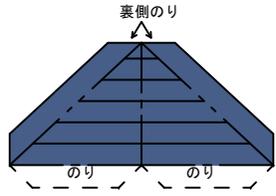


灯塔 中段

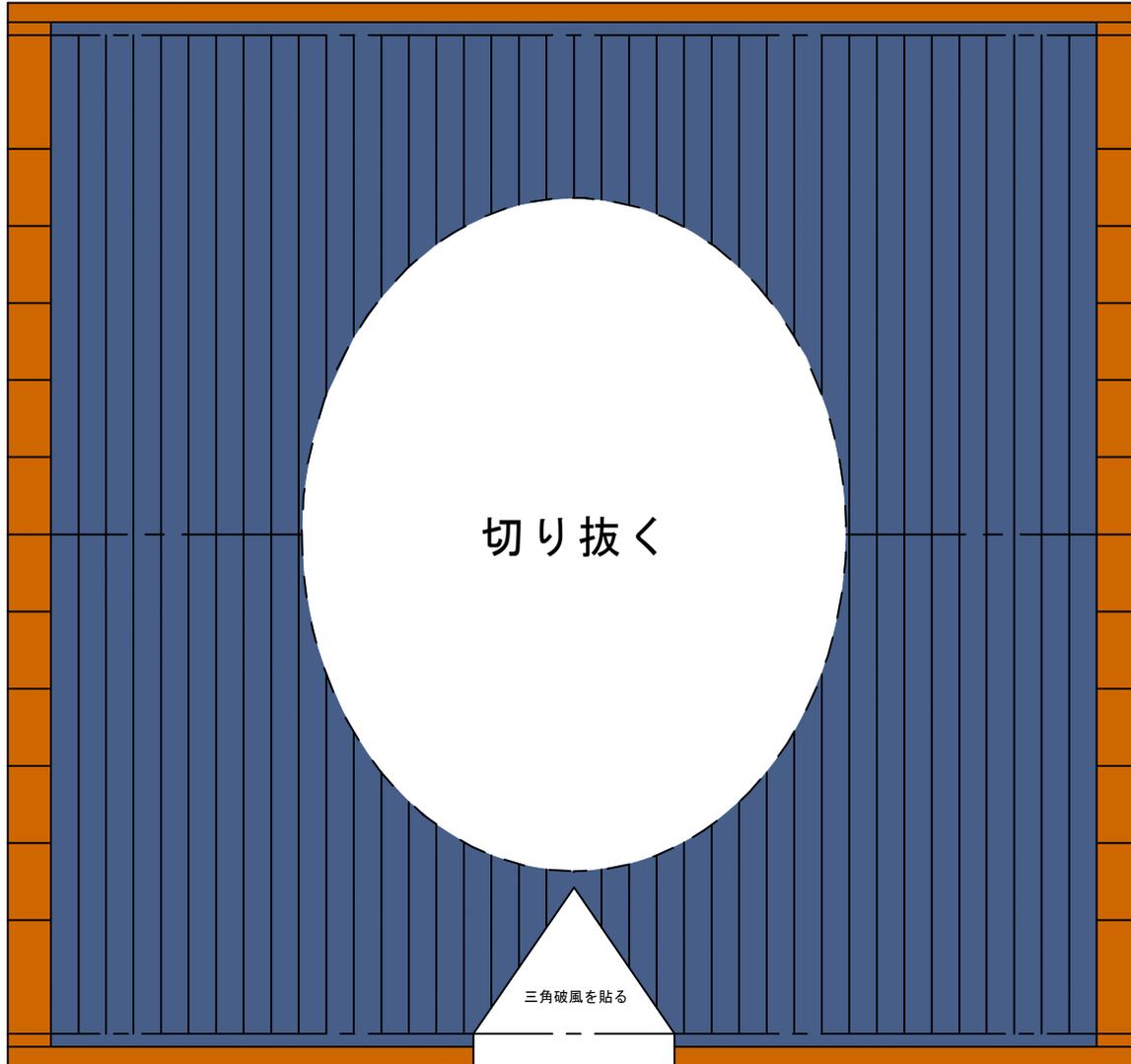


← 灯塔継ぎ足し部
 灯塔は円筒形に組立てて継ぎ足す

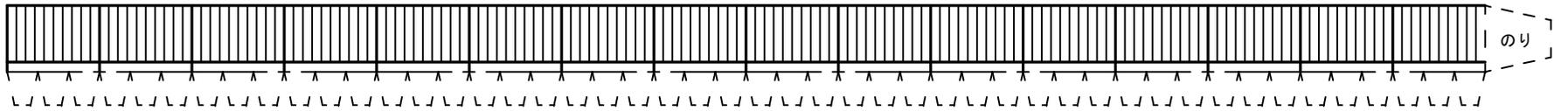
三角破風



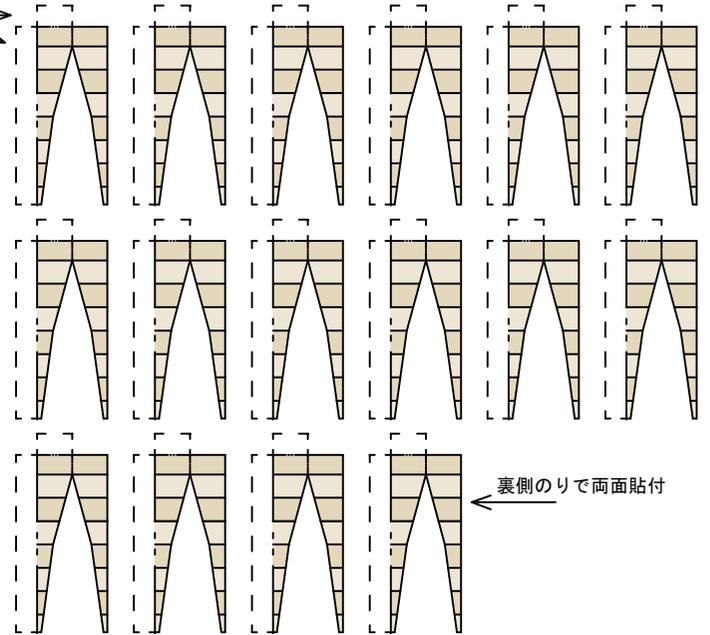
付属舎屋根



踊り場手摺り



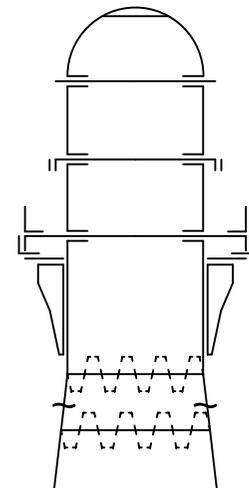
踊り場下部飾りのり



窓の左右の箇所はのりしろを窓と逆方向に折り貼付

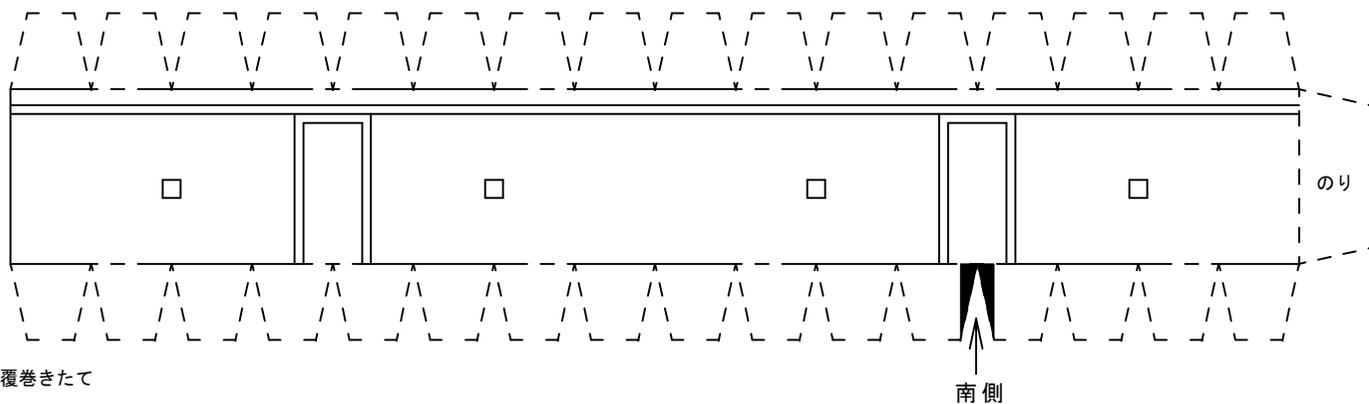
折り曲げ方

- 灯ろう天がい
- 灯ろう上部ひさし
- 灯ろう
- 地覆
- 胴壁
- 踊り場上部
- 踊り場下部
- 灯塔上段
- 灯塔中段
- 灯塔下段

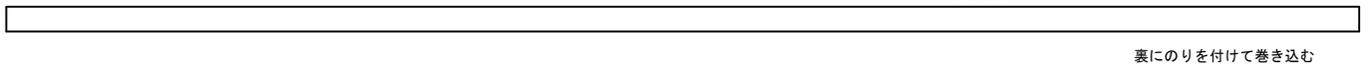


- 地覆巻きたて
- 踊り場手摺り
- 踊り場巻きたて
- 踊り場下部飾り

胴壁

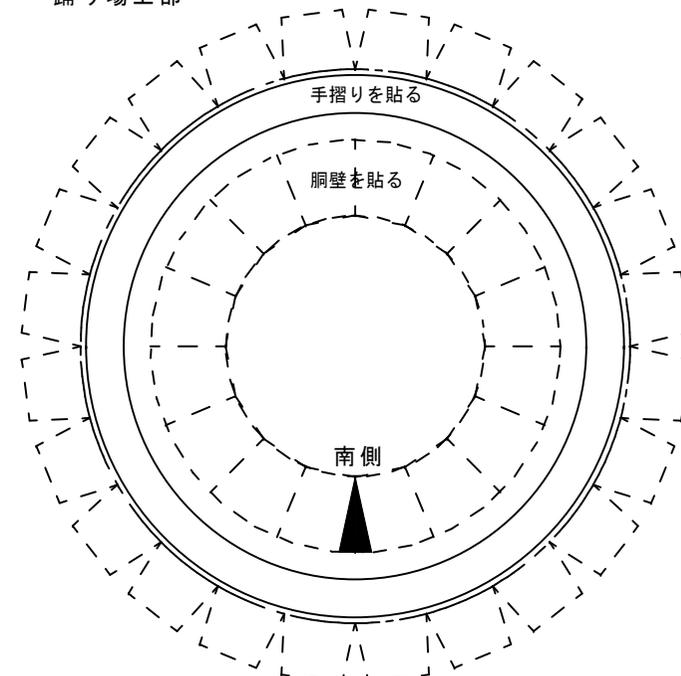


地覆巻きたて

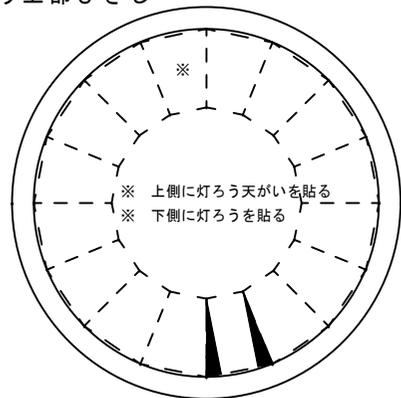


裏にのりを付けて巻き込む

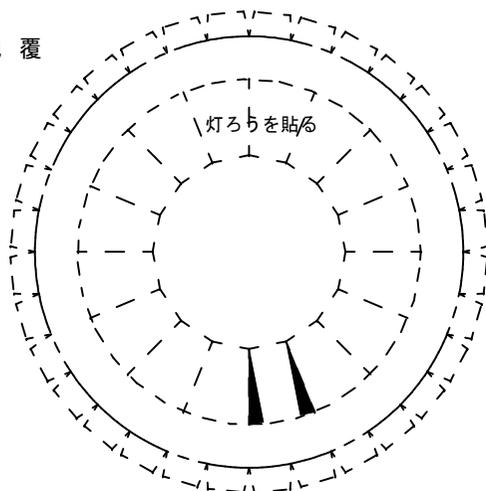
踊り場上部



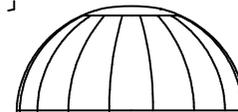
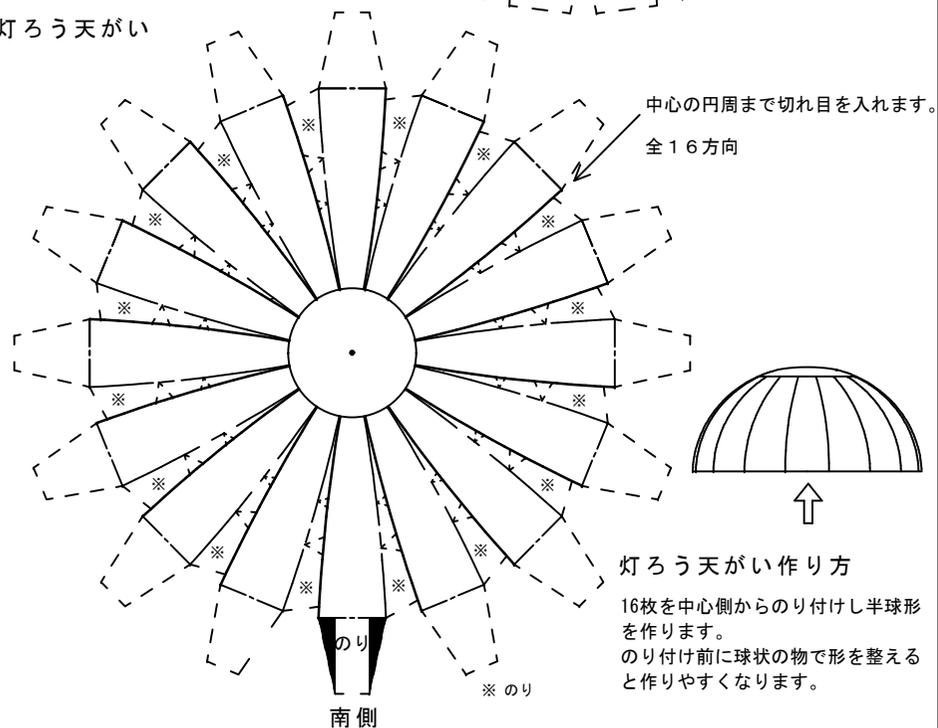
灯ろう上部ひさし



地覆



灯ろう天がい



灯ろう天がい作り方

16枚を中心側からのり付けし半球形を作ります。のり付け前に球状の物で形を整えると作りやすくなります。

灯ろう

